

会 議 録

- 1 会議名
令和2年度 第1回阿賀野市下水道審議会
- 2 開催日時
令和3年2月18日(木) 午後1時30分から午後2時38分まで
- 3 開催場所
阿賀野市上下水道局 3階 大会議室
- 4 出席者の氏名(敬称略)
 - ・出席委員： 小嶋貴子、漆山栄子、柄澤久作、西潟 隆、矢口益巳、近山 修、
加藤博幸、高橋秀典、竹内 徹、近藤友成(代理：服部 忍)、
佐藤芳秀、小嶋 聡、佐藤茂之、松田昭悦
 - ・欠席委員； 棚橋麻衣、稲毛秀利
(委員16人中 14人出席)
- 5 審議事項(公開・非公開の別)
 - ① 阿賀野市公共下水道整備事業計画について(公開)
 - ② 下水道事業に係る条例・規則等の改正について(公開)
- 6 報告事項等(公開・非公開の別)
 - ① 令和元年度下水道事業会計決算について(公開)
 - ② 阿賀野市の下水道事業の現状について(公開)
- 7 傍聴者の数
なし
- 8 発言の内容
(発言は、「会長」、「委員」の名称区分としている)

【開会】

事務局

ただ今より「令和2年度 第1回下水道審議会」を開催いたします。

皆様には、大変お忙しい中ご参集いただきまして、大変ありがとうございました。本来であれば、新型コロナウイルス感染防止対策の観点から、委員の皆様が一堂に会さない方法を検討いたしましたが、会場のレイアウトや適度な間隔を開けながら、飛沫拡散防止対策を行うことで、委員改選後の最初の審議会でもありましたので会議を設定させていただきました。よろしくお願いいたします。

はじめに、田中市長よりご挨拶を申し上げます。

【市長あいさつ】

大変、ご苦勞様です。市長の田中でございます。委員の皆様方におかれましては、大変、お忙しい中、下水道審議会に参集いただき、ありがとうございます。

また、皆様方におかれましては、下水道審議会を通しまして、下水道行政に大変、尽力いただいていることに感謝申し上げます。

今日、ご審議いただきますのは、下水道の大変、重要な計画についてご審議いただき、皆さま方からの意見を反映し、我々、下水道の整備あるいは運営にあたってまいりたいと思います。

ご承知の通り、阿賀野市は、着手は非常に遅かったんですけれども、現在は、96%、あと3年ほどしますと、下水道にしましては、概成するという段階になりました。

私も以前、下水道に携わっておりまして、そのとき感じましたのは、下水道は選挙の票にならないということで、各自治体の首長さんがなかなか整備に取り組まないという傾向がありました。

道路というのは非常に票になるんですけれども、農地もそうですけれども、下水道は票にならないといった部分で整備が遅れていたんですけれども、阿賀野市は、皆さんのお力添えをいただいて、ここまで到達しました。本当に私も感慨深い思いです。

ただ、水洗化率がまだまだ低い。やはり整備が遅かった分だけ接続される方の割合が低い、これが今の大きな課題となっております。

下水道の整備が完了しますと周辺の環境も良くなりますし、そしてまた、当然のごとく水質も改善され、私どもの生活環境も良くなるんですけれども、やはり、お金がかかるものですから、接続がまだ伸びていない、そういった部分も皆さんからですね、見ていただいてご意見いただければと思います。

令和元年から下水道の経営の透明化を図るために、企業会計を導入させていただきました。その初めての決算、今年度まとめましたので、それについても、後ほど、ご報告をさせていただきたいと思っております。

今回の審議につきまして、よろしくお願いいたします。一言ご挨拶

事務局

拶にかえさせていただきます。本日は、どうぞよろしくお願ひいたします。

ありがとうございました。

本日、欠席のご連絡を 棚橋委員、稲毛委員 2名より頂戴しております。

本日の審議会は、委員改選後の最初の審議会となりますので、審議に入ります前に、審議会委員の方々をご紹介させていただきたいと存じます。なお、紹介順は、配布させていただいております座席表に準じ、所属とお名前のみをご奉読させていただきます。

最初に、

新発田地域振興局地域整備部 部長 高橋 様、新発田地域振興局農村整備部 部長 竹内 様、新潟県流域下水道事務所 所長 近藤様、国土交通省北陸地方整備局 新潟国道事務所 水原維持出張所 所長 佐藤 様。

続きまして、市議会議員 近山 様、同じく加藤 様、安田商工会 青年部 副部長 小嶋 様、京ヶ瀬商工会 理事 佐藤 様、阿賀野川土地改良区 理事長 松田 様。

続きまして、住民代表の小嶋 様、同じく漆山 様、同じく柄澤 様、同じく西潟 様、同じく矢口 様でございます。

続きまして、事務局職員を紹介させていただきます。

※職員の紹介※

最後になりますが、申し遅れましたが、進行を務めさせていただきます、下水道次長の小林と申します。

続きまして、審議に入ります前に、市長につきましては、公務の都合により、ここで、退席させていただきます。(市長退席)

それでは、今回、ご承知いただきたい件と、お諮りいたしたい件がございます。

まず、ご承知いただきたい件でございますが、本審議会につきましては、本市の審議会等の会議の公開に関する要綱に基づきまして、公開を原則としております。

このため、議事録を作成する参考にさせていただく関係から、本日の会議を録音させていただきたいと思ひます。また、写真撮影についてもご承知おきいただきたいと思ひます。

ここで本日の資料の確認をさせていただきます。

資料については、事前に配布させていただいているもの、本日、追加で配布させていただいたものとありますが、不足等がありましたら、後ほど、お申し出ください。

- ① 審議会次第
- ② 審議会委員名簿
- ③ 審議会条例の写し

- ④ 審議事項 資料 1 「阿賀野市公共下水道整備事業計画について」
- ⑤ 審議事項 資料 2 「下水道事業に係る条例・規則等の改正について」
- ⑥ 報告事項等 資料 1 「令和元年度阿賀野市下水道事業会計決算の概要」、資料 1 付属資料「令和元年度阿賀野市下水道事業決算報告書」
- ⑦ 報告事項等 資料 2 「阿賀野市の下水道事業の現状について」
- ⑧ 令和 2 年度にいがたけんの下水道（リーフレット）

本日、追加で配布させていただきました委員名簿、阿賀野市の下水道普及状況と水洗化率について、事前質疑回答票、審議事項資料① 9 ページの図面を拡大したものであります。不足等はありませんでしょうか。

続きまして、委員の改選がありましたので、阿賀野市下水道審議会条例第 4 条第 1 項に会長、副会長を委員の互選によって選出するとあります。いかが取り計らいましょうか。

※事務局一任の声※

それでは、事務局案をご提案させていただきます。

【事務局案】

会 長 阿賀野川土地改良区 理事長 松田 様
副会長 京ヶ瀬商工会 理事 佐藤 様

それでは、これからの議事進行は松田会長よりお願いいたしますので前の会長席へご移動願います。

会長 皆様のご協力のもとスムーズな進行を心掛けたいと思いますので、お願いいたします。

それでは、次第に従いまして議事を進行させていただきます。

審議事項①阿賀野市公共下水道整備事業計画について事務局より説明を求めます。

事務局 審議事項①阿賀野市公共下水道整備事業計画について説明。

会長 事務局の説明が終わりました。

これより、質疑をお受けしたいと思います。

ご質問等がある委員の方は、挙手にてお願いいたします。また、ご発言の際は、前方の席に移動していただき、そちらで、ご発言願います。

なお、こちらの議案につきまして、事前に漆山委員から質問をお受けしておりますので、事務局から説明を求めます。

事務局 それでは、配布しております事前質疑回答票の上段になります漆山委員からの質問でございます。一つ目が 2 ページ目の農業集落排水事業大和地区の流域下水道への接続についてでございます。

こちらは、平成 28 年度に策定しました「阿賀野市汚水処理施設整備構想」におきまして農業集落排水事業各地区の今後の施設改築や更新コストと流域、単独公共へ接続した場合の建設コストや維持管理コストな

どを比較検討し、より効率的な管理運営・維持管理コストの縮減が図れることから流域下水道事業への接続としたものでございます。

二つ目です。こちら、8ページ目になりますが、追加計画区域 59.35ha となっているが大和地区 58.61ha の他に追加区域があるかというご質問でございますが、こちらにつきましては、各地区に点在していた区域外流入面積を追加するものであります。

会長 その他、皆さんのほうで何かご質問ありますでしょうか。では、ないようでございますので、審議事項②下水道事業に係る条例・規則等の改正について、説明を求めます。

事務局 審議事項②下水道事業に係る条例・規則等の改正について説明。

会長 事務局の説明が終わりました。

 こちらも、事前に漆山委員からご質問をお受けしておりますので、事務局からの説明を求めます。

事務局 引き続きまして、事前質疑回答票 1 ページ目の中段になります。※ 1 平均貸付割合の告示時期等の改正前後の基準月が相違しているのはなぜかというご質問を頂戴しております。

 回答につきましては、税制改正時におきまして、国が改正したものであります。平均貸付割合の告示を行う時期を前年 1 2 月 1 5 日までを前年 1 1 月 3 0 日まで、約ひと月前倒ししたことによりまして、期間算定を行う月を変更したものであります。

会長 事務局の説明が終わりました。その他、何かご質問ありますでしょうか。

 ないようですので、次の議案にうつります。報告事項等①令和元年度下水道事業会計決算について、事務局からの説明を求めます。

事務局 報告事項等①令和元年度下水道事業会計決算について説明。

会長 事務局の説明が終わりました。

 矢口委員、西潟委員から事前に質問をお受けしております。

 事務局からの説明を求めます。

事務局 矢口委員から、汚水処理水量及び年間有収水量の算出方法はというご質問がありました。

 汚水処理水量につきましては、それぞれ、流域下水道、安田浄化センターにそれぞれ流量計がございまして、そちらのほうで、汚水の流入水量を計測しております。それぞれの汚水流入水量を合算したものになります。

 令和元年度のそれぞれの汚水流入水量は、流域下水道終末処理場が 2,357.112 m³、安田浄化センターが 824.997 m³、渡場、小松、大和の集落排水処理場が 128.483 m³となっています。

 年間有収水量につきましては、水道使用量のうち下水道使用料を測定した水量となっています。

 次に、降雪が多い場合、不明水により有収率の低下が起こる可能性は

というご質問がありました。

阿賀野市の下水道施設は比較的新しいため、不明水による影響は低いのですが、降雪よりも大雨の影響での不明水により有収率が低下することがあります。

西潟委員から 8 ページ目の未収金回収対策はというご質問を頂戴しております。

営業未収金は、主に下水道使用料になります。こちらについては、水道料金に徴収委託をしております。水道料金と同時徴収であることから、ほぼ未収が発生せず、未収となった場合でも、早期に回収となっています。

営業外未収金は、主に消費税還付金となっております。当年度決算時点において計算し、税務署に申告書を提出することから、還付金の受け入れが翌年度の 8 月頃に入金となるため、未収金となっております。

その他未収金は、主に受益者負担金、分担金になります。未納世帯への訪問徴収や分納勧奨を中心に回収対策を行っています。

令和元年度末時点での未納件数は納付書や口座振替での分納が 26 件、来庁や訪問徴収が 9 件となっています。

そのほか、集落排水の償還基金の繰入金がございます。通年、県補助金が入金後、年度末に基金に積み立て、その後、繰入れをする作業となります。繰入は翌年度 4 月末に行っているため、未収金という扱いとなっております。

矢口委員から 10 ページ目の重要契約の要旨に記載する工事はというご質問を頂戴しております。

決算当年度（繰越事業除く）における契約金額 1,500 万円以上の契約を掲載しています。

1,500 万円以上としている根拠としては、水道事業に準じ（水道事業事務決裁規程別表 3（7））、工事請負契約における市長決裁のものを記載しています。

改良費における 1,500 万円以上の契約のものは、繰越事業であり、搭載するとすれば、前年度決算書になります。

次に、集落排水事業の営業収支が公共下水道事業に比べて低い理由はというご質問を頂戴しております。

阿賀野市の下水道事業の体系は、主に安田地区での単独公共下水道事業、主に水原地区、京ヶ瀬地区、笹神地区での流域下水道事業、安田の渡場、小松、大和地区における集落排水事業となっています。令和 2 年 4 月 1 日からは大和地区のみとなっております。令和 2 年度以降は、割合にすると非常に低くなります。

次に、下水道事業費用、処理場費の委託料の契約はというご質問を頂戴しております。

こちらは、安田浄化センター及び大和地区農業集落排水処理場の維持

管理経費、汚泥処分委託が主なものになります。

- 会長 事務局からの説明が終わりました。
そのほかにご質問はありますでしょうか。
- 委員 委員の質問のところで、降雪量が多い場合、不明水の影響があまりないということなんですけれども、今回のような大雪で消雪パイプの影響というのはないのでしょうか。それと、下水道施設が比較的新しいので、不明水の影響は低いということでしたが、それは、マンホールの蓋の部分が新しいからということなのか、それとも管渠が新しく壊れていないのでそこから不明水が入らないからという意味なののでしょうか。
- 事務局 委員のおっしゃる通りでございまして、大雨のときはさすがに一気に流れてまいります。今年のような大雪の場合、統計的なものは揃っていませんが、雪解け水や消雪パイプの水が流れ込むものと考えております。
それから、新しい施設だからということで、不明水が少ないということでご説明させていただきましたが、使用しているマンホールの蓋ですが、昔のものが一部分ありまして、昭和の時代に設置させていただいておりました曾郷地区や緑岡地区について、長寿命化対策工事で直させていただきました。また、旧農業集落排水事業の笹岡地区についても、雨、雪の影響を受けておりますので、更新作業をやっているところであります。
そのほかの施設については、比較的新しく、防水型の蓋を設置させていただいておりますので、大丈夫ではないかと思っております。
- 委員 阿賀野市で把握している有収水量と県の通知の有収水量とはほぼニアリーイコールなんですか。
- 事務局 阿賀野市の場合、普及促進制度を実施しておりまして、下水道の供用開始以降3年目までに接続していただいた方には、その接続の時期に応じて、使用料が1年間免除、半年間免除、3か月間免除という制度がありますので、その分、有収水量にカウントされないお客様もいらっしゃるのですが、その方々を入れても有収水量は高いので、不明水は少ないと判断しております。
- 委員 車庫の前に本管が通っていて、その蓋の周りのアスファルトがひび割れになっていて、建設課から舗装の修繕をしてもらっているが、仮にそれをやらなかったら、舗装と下水道本管との兼ね合いであるとか、技術的な部分も含めてどうか。
- 事務局 どうしても、マンホール周りというのは、傷みやすい傾向にありますので、地域の方や道路管理者から連絡をいただいた場合は、現地を確認しまして、必要に応じて舗装の打ち替えであったりとか修繕を行っておりますので、そういった事例がありましたら、ご連絡いただき、我々のほうで、対応させていただきたいと思っております。

会長 よろしいでしょうか。
他にございませんでしょうか。
それでは次に報告事項等②阿賀野市の下水道事業の現状について事務局の説明を求めます。

事務局 報告事項等②阿賀野市の下水道事業の現状について説明。

会長 事務局の説明が終わりました。
西潟委員から事前の説明を頂戴しております。
事務局より説明を求めます。

事務局 事前質疑回答票の最終ページになります。
西潟委員から市全体の他、各地区の接続率はというご質問を頂戴しております。
本日、「阿賀野市の下水道普及状況と水洗化率について」を資料として追加させていただきました。資料の関係もあり、平成30年度末と令和元年度の最新のを配布させていただきました。
令和元年度末の資料をご覧ください。追加資料は公共下水道、特定環境保全公共下水道を合算した公共下水道、農業集落排水事業、合併浄化槽、合計の接続率、水洗化率の表になっており、全体としましては71.58%となっています。
4地区の中では水原地区の接続率が低く、商店街や住宅密集地での宅内配管の工事費がかなりかかることや全地区に言えることですが、後継者がいない世帯で接続しないという世帯があることなどが主な要因です。

会長 事務局の説明が終わりました。
そのほか、何かご質問等ございませんか。
それでは、全体を通して何かご質問はありますでしょうか。

委員 今回、大和地区は、流域下水道に編入しましたが、これから人口減少が進展していく中で、安田地区になります。浄化センターを維持していったほうがいいのか、流域下水道につなげていったほうがいいのか、また、何年後にそういった形にしていくのか、そういった検討、お考えはあるのでしょうか。

事務局 委員のおっしゃる通りでございまして、これからどんどん進んでいく人口減少に対してまして、今まで通りの維持管理を続けていくと事業運営が困難になってくるのではないかと推測していますけれども、これは我々阿賀野市だけの問題ではなく、今現在、県を含めた全体の問題、課題であると思います。
一昨年度末から新潟県全域の広域化計画ということで、今、各自治体の代表が集まりまして、公共施設、処理場の統合、農業集落排水施設の統合、流域下水道への統合、あるいは、身近なところ言えば、し尿処理施設の統合、合併処理浄化槽の汚泥の処理施設の統合など、様々な分野で検討を行ってございまして、最終的に新潟県の計画として出来上がるの

が、令和4年度中ということで、県が主体となって、我々も入り、協議を進めているところであります。

委員 今回、追加資料で、大きい図面をいただきましたが、出来れば、事前配布の際に、大きい図面にしてもらわないと見るときに苦勞したので、配慮してほしい。

事務局 次回からは、そのように、準備したいと思います。

会長 ありがとうございます。

他に何かございますか。

事務局何かございますか。

事務局 本日、審議会にご出席いただきました委員の皆様の報酬でございますが、後日指定口座へ振り込みさせていただきます。振込日等が決まりましたらご自宅宛てにお知らせを郵送させていただきますのでご確認をお願いいたします。

会長 その他ございませんでしょうか。

無いようでしたら、以上を持ちまして令和2年度阿賀野市第1回下水道審議会を終了させていただきます。

長時間にわたり、大変ありがとうございました。

事務局 松田会長大変ありがとうございました。

また、委員の皆様も大変お疲れ様でした。

市といたしましては、今後も適正な下水道事業運営に取り組んでまいる所存でございます。皆様方のご協力をお願いいたしまして閉会とさせていただきます。

【 閉会：午後2時38分 】